

デザインフィット工法

【製品概要】

枠付鉄骨ブレースを用いた耐震補強工法

県
活
用
方
針

従来品より機能が優る「やまぐち発新製品」

【優れた機能が発揮できる工事現場】

構造設計自体の設計段階において、以下の条件に合致する場合は、工法検討の比較対象とする。

○枠付鉄骨ブレースを用いた耐震補強工法となる場合

【特長】

デザインフィット工法は、鉄骨ブレース耐震補強工事において、施工手間がかかり、騒音や粉塵が発生するアンカー工事を大幅に削減することにより、工期短縮、施工環境の改善、コスト削減を実現した、在来工法と同様に設計・施工できる耐震補強工法です。また、鉄筋コンクリート架構を既存建物加構に増設し、増設加構内にブレースを設置することで完全外付まで可能であり、建物を使用しながらの補強工事（居ながら施工）にも対応できます。

<山口県内採用事例>

H21年度 育成学校本館耐震改修工事



H22年度 光高校管理棟他耐震改修工事



H23年度 光高校普通教室耐震改修工事



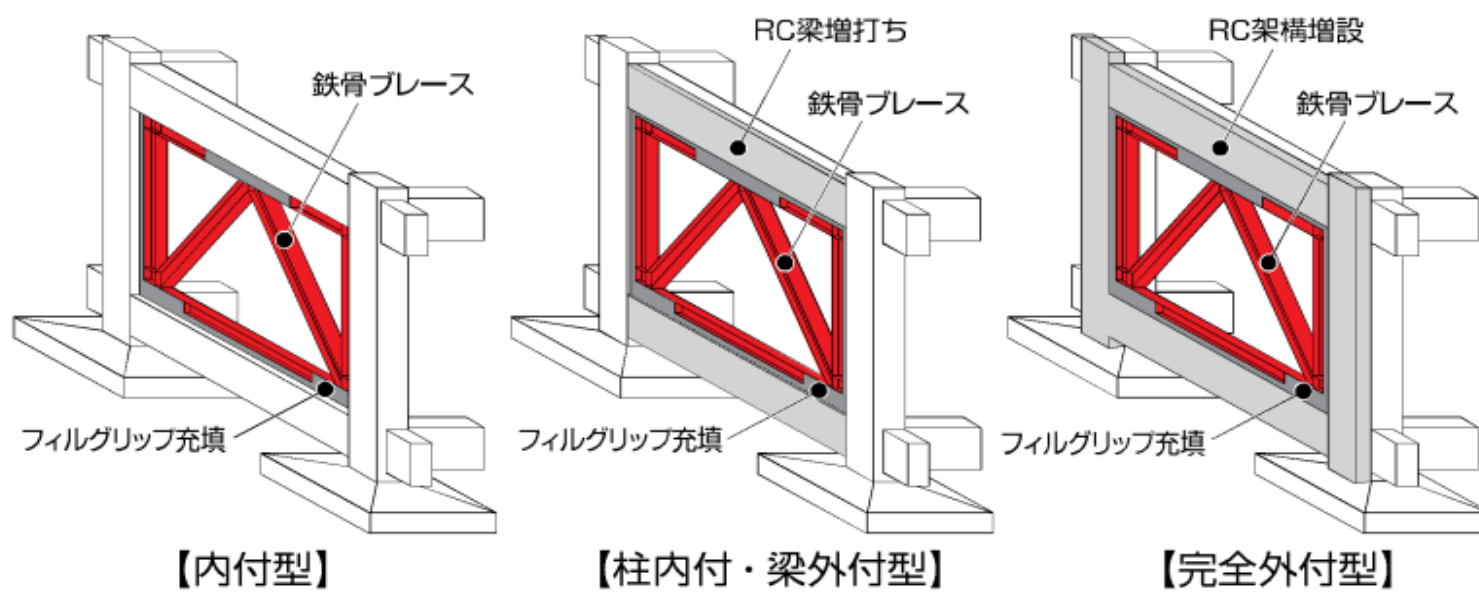
H26年度 下関工業高校普通教室棟耐震改修工事



【製造者】 山陽建設サービス株式会社

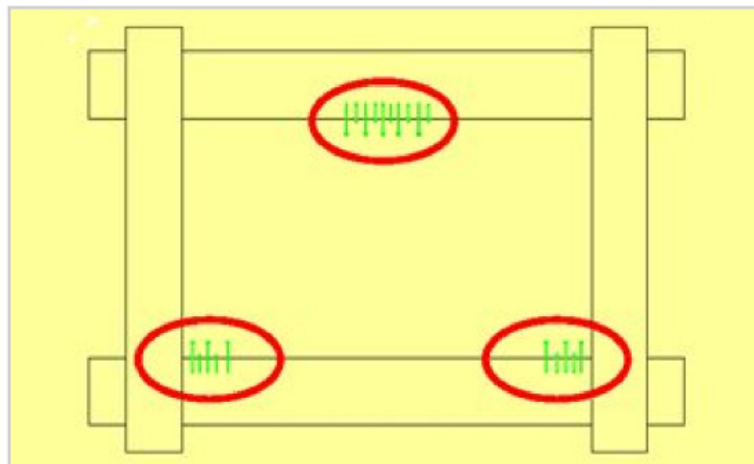
【デザインフィット工法の構造】

デザインフィット工法（GBRC 第08-10号改）には、内付け型、柱内付け・梁外付け型、完全外付け型の3タイプがあり、ブレース材は、H形鋼の他、ピン接合による鋼管ブレースにも対応しています。ブレース形状は、K型（ \wedge 、 \vee 型）、マンサード型、片流れ型から選択することができ、既存建物の形状およびデザインニーズに合わせる形で仕様を選定することが可能です。



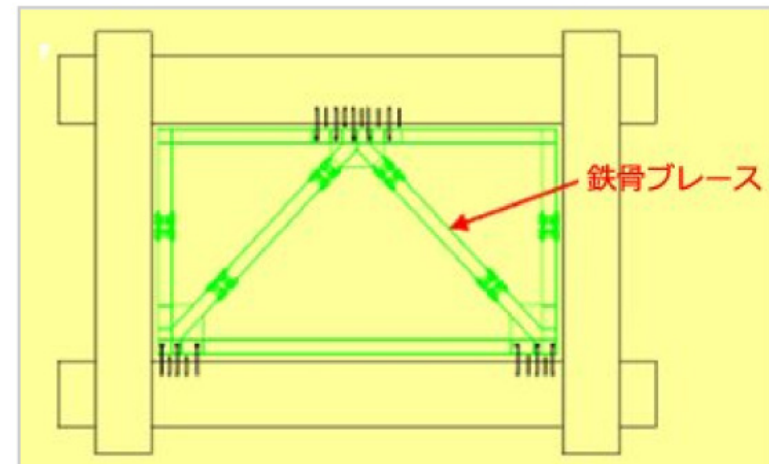
【施工の流れ】

(1) アンカー筋設置



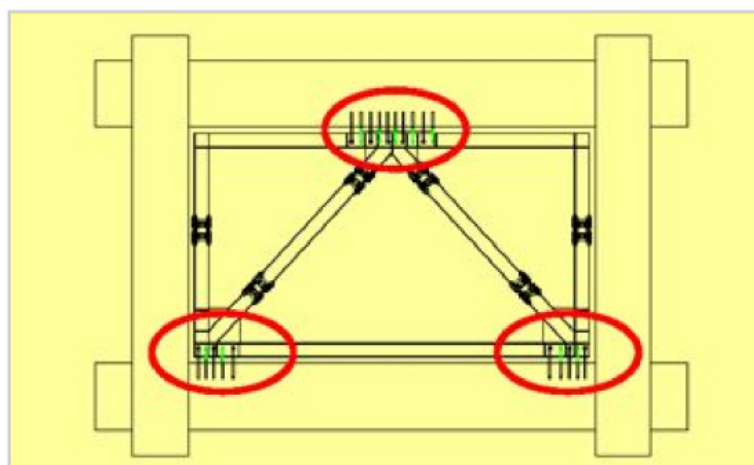
アンカー筋仮セットによるねじ切り位置の確認
アンカー筋の固着・養生

(2) 鉄骨ブレースの設置



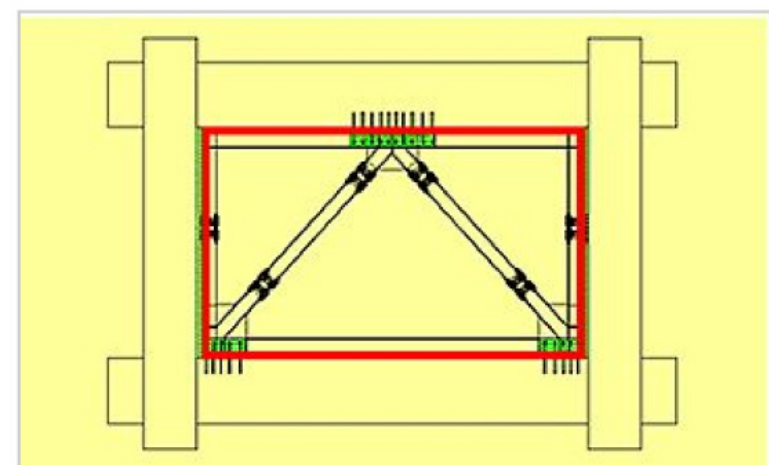
センター・出入り・垂直の設置位置の調整

(3) 手前側アンカー筋の設置



手前側アンカー筋をナットで継ぎ所定の長さを確保

(4) モルタルの充填



既存躯体と鉄骨ブレースの間に所定のモルタルを
隙間の出来ないように慎重に施工
圧入は下部から一度に上部まで行うことを原則